

Zoomによるオンライン開催！

ファルマバレー／

バイオデザインセミナー

デザイン思考プロセスを用いた機器開発

バイオデザイン手法を通して、ニーズ探索、コンセプト設定などの事業化へのゴールを見据えた開発の考え方を整理し、確実に事業化できる方法について学習する。

ライブ配信

2022.10.6 Thu
14:00 ~ 15:00

200名募集
参加無料

録画配信

2022.10.7 Fri ⇒ 10.14 Fri



【申込方法】

左記QRコードを読み込んで、参加申込フォームよりお申し込みください。

【締め切り】10月3日(月)

【お問い合わせ】

(公財)ふじのくに医療城下町推進機構
ファルマバレーセンター

事業推進部 ☎ 055-980-6333 ✉ jigyo@fuji-pvc.jp

<https://sites.google.com/view/pvc2022>



申込フォーム



公式サイト

■ プログラム ■



「ニーズ発イノベーションプロセス バイオデザインに関する基本的な考え方」

やぎ まさかず

八木 雅和氏 大阪大学大学院医学系研究保健学専攻／寄附講座准教授

日本バイオデザイン学会での医療機器イノベーション人材育成の活動経験をもとに、ニーズ発で機器開発をする際の基本的な考え方、および、失敗を避けるためのポイントについて共有する。



「ユーザー視点での価値主導支援機器開発」

たがみ みき

田上 未来氏 大阪大学バイオデザインフェロー2022/2023

バイオデザイン手法を支援機器開発に活用する試みを実施している。これまでに得られている一部成果についてご紹介する。



「開発事例：コミュニケーション機器」

いのうえ たけのぶ

井上 剛伸氏 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部研究部長

伊豆市で2011年～2020年にかけて、コミュニティベースで展開した情報支援ロボットの開発について概説する。ニーズの発掘から、ユーザインタフェースの検証、利用場面の設定、支援体制の構築にいたるプロセスを紹介する。

パネルディスカッション 進行：八木 雅和 氏

支援機器開発に失敗しないために



西嶋 一智氏



五島清国氏

「行政官の経験を踏まえた視点から」 大阪大学バイオデザインフェロー2022/2023 田上 未来氏

前職 厚生労働省 福祉工学専門官として経験した国内の支援機器開発の実情を踏まえたユーザー視点での支援機器開発について述べる。

「制度で採用される機器をつくるために」 宮城県立リハビリテーション支援センター 技術副参事兼技術次長 西嶋 一智氏

支援機器に関する制度は、薬事法のように質の低い製品を制限・排除する「規制」は乏しく、保険償還のように調達・普及を促進する「助成」が中心である。助成制度の対象になると普及の面で有利にはなるが、制度が求める条件を満たす必要が出てくる。また、制度の対象にならないと販売できないわけでもない。製品開発の構想段階から制度との適合を予め検討しておくことが重要と考える。

「支援機器を利用する側の視点及び、開発・評価のポイント」 公益財団法人テクノエイド協会 企画部長 五島 清国氏

少子高齢化の進展に伴い、高齢者・障害者の自立と介護者の負担を軽減する支援機器の果たすべき役割が大きくなっている。本講では、利用者の視点から見た支援機器のあり方及び、開発・評価のポイントについて考察する。

「開発者の視点から」 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部研究部長 井上 剛伸氏

支援機器の開発について、開発者の視点から日頃から感じていることとお話する。

質疑応答